

平成 29 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーサイド
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 假 屋 勝
 (JASDAQ・コード 2330)
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 飯 田 潔
 電 話 0 3 - 6 2 6 2 - 1 0 5 6

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年11月14日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年5月17日に公表した平成29年12月期通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成29年12月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,129	160	173	41	1.79
今回修正予想 (B)	3,000	20	30	10	0.38
(B - A)	△1,129	△140	△143	△31	
増減率	△27.3%	△87.5%	△82.7%	△75.6%	
(ご参考) 前期連結実績 (平成 28 年 12 月期)	935	24	41	34	1.37

2. 修正の理由

売上と利益の更なる増加を目指し、新規事業の開始及びM&Aにより企業再編を実施、新たなポートフォリオを構築し業容の拡大及び事業リスクの分散を進めてまいりました。今期は、M&Aにより新たに株式会社ブレイクと日本賃貸住宅保証機構株式会社を子会社化し、売上・利益共に増加いたしました。利益率の低い取引の見直し及び、事業計画の見直しを行った結果、平成29年12月期通期連結業績予想を修正する運びとなりました。主な要因は下記の通りです。

平成29年3月に子会社化した株式会社ブレイクのプライズ事業においては、これまでの利益率の低い取引を見直した結果、売上高においては当初計画していた業績予想より1,000百万円減少する見込みですが、効率の良い取引のみ行うことにより、営業利益としては、当社グループに加わる前の平成28年度の実績と比較すると前年比126%、前年度の約2.2倍となる見込みです。

また、フォーサイドメディア株式会社では、ベトナム大手国営郵政・通信事業会社VNPTグループのモバイル通信キャリアであるVNPT VINAPHONE CORPORATION（本社：ベトナム社会主義共和国ハノイ市、General Director of VNPT-Vinaphone：Mr. To Dung Thai）と共に、ベトナム国内において新たなSNSプラットフォームサービスを展開するための協議をすすめておりましたが、SNSプラットフォームの仕様設計及び業務提携に関する条件等の協議に時間を要しており、今期のサービス開始を見送ることと致しました。また、平成29年7月21日に開示いたしました「当社連結子会社における事業の譲受並びに新たな事業開始に関するお知らせ」の通り、新たな事業として予定しております。

した「CROSSクラウドファンディング」によるアニメ、ゲーム等のキャラクター商品の販売事業及び付随するキャラクター関連事業においても平成29年11月開始を予定しておりましたが、譲受により引き継いだ「CROSSクラウドファンディング」システムの脆弱性及び商品管理・顧客管理の杜撰さにより継承が難しく、譲り受けた事業を引き続き続けていくことが困難であったため、商品企画及び商品の販売システムを1から構築することと致しました。しかしながら、先行投資として広告費及びライセンス獲得費用の発生が見込まれるため、今期の利益確保を優先し、新規事業の開始は来期へ見送ることと致しました。これら新規事業開始の延期および準備費用等の発生により、売上高129百万円、営業利益136百万円減少する見込みです。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益においても、上記理由により修正致します。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上